

“挑戦と成長：ベンチャー企業への道”

ネクスファイ・テクノロジー株式会社
開発部 野村 優貴

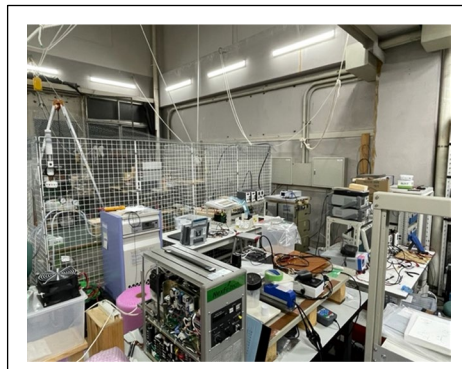
1. はじめに

私は2020年3月に本学電気電子情報通信工学専攻・修士課程を修了し、2023年3月に同博士後期課程を単位取得退学しました。そして、同年4月に大阪大学発ベンチャーであるネクスファイ・テクノロジー株式会社に入社いたしました。多くの阪大生にとって、大企業への就職が一般的だと思いますが、この機会に、私がベンチャー企業に進路を選択した理由や、スタートアップの舞台裏について紹介したいと思います。またフレッシュな人材として、今後の抱負や会社の展望についても述べさせていただきます。

2. 挑戦と成長

私は本学大学院でこれまで半導体パワーデバイスを用いた電力変換技術に関する研究に従事してきました。ベンチャー企業に足を踏み入れるきっかけとなったのは、これまで従事してきた自分の研究が事業内容にピッタリと合致していたからです。それまでの経験が即戦力となり、新たなフィールドでの挑戦を可能にしました。ベンチャー企業で働く魅力の一つは、製品の設計開発段階から製造終了までの一連の流れをすべて肌で体感できることです。大企業に比べて、研究に割ける時間が多く、やりがいのある仕事であると感じています。

また、ベンチャー企業ではメンバーが少ないため、自分の専門外の事についても学ぶ機会が多いです。例えば、展示会や外回り、営業活動も業務内容の一部であり、これらもエンジニアの仕事だと考えています。様々な経験が、自分の視野を広げ、新たな視点を提供してくれると感じています。ベンチャー企業での働き方は、自分自身の成長とともに、企業の成長も体感できるところに大きな魅力があります。挑戦と成長の連続が、道を切り開いていくと考えています。



弊社の研究設備
本学電気棟 (E棟)

3. 未来への展望：小さな会社、大きな夢

私たちの会社は10人程度の小さな組織ですが、自社のコア技術には絶対の自信を持っています。この技術を社会実装まで実現することが、私たちの目指す目標です。また、製品の開発や製造と平行して、開発技術の学理も追及していきたいと考えています。私たちの技術が社会に貢献するための重要なステップになると信じています。

私たちは専門や担当を決めるのではなく、臨機応変にみんなで業務に取り組んでいます。それが、会社の成長につながると考えているからです。小さな組織ですが、その小ささが私たちの強みでもあります。それぞれが多角的な視点を持ち、多様な業務に取り組むことで、会社全体として大きな成果を上げることができます。

私たちは、小さな会社から大きな夢を追い求めています。そして、その夢を実現するために、これからも日々挑戦し続けていきたいと思っています。

(2018年3月 徳島大学 工学部電気電子工学科卒)
(2020年3月 大阪大学大学院 工学研究科 電気電子情報通信工学専攻 修士課程修了)
(2023年3月 大阪大学大学院 工学研究科 電気電子情報通信工学専攻 博士課程単位取得退学)